

平成24年度 小松市決算のあらまし

財政のすがたを 分かりやすく

市の財政のしくみは、複雑でことばも難しく、決して分かりやすいとはいえません。そこで、私たちの身近なサービスのために「どのようにお金が使われているのか」、
「小松市の財政はどのような状態なのか」を市民の皆さんに知っていただくために、平成24年度の小松市の決算の情報をもとに、分かりやすく説明します。

平成24年度決算の特徴

景気動向の影響などから市税収入は引き続き厳しい状況でありましたが、保育料の引き下げや子どもの医療費助成の拡大など、子どもたちが安心して成長できる環境づくりに努めるとともに、南加賀救急医療センターの開設やICTを活用した高機能消防指令システム整備を整備し、救急・消防体制も充実しました。また、「サイエンスヒルズこまつ」や「こまつ曳山交流館“みよっさ”」の整備など北陸のヒト・モノ・文化が交差する拠点都市を目指す事業を行いました。

一方、健全な財政を目指し、市債残高については、市債発行総額の抑制や繰上償還などを行い、全会計で約17億円改善しました。

もくじ

1年間でいくらお金を使ったの？	・・・・・・・・ 1ページ
何にお金を使ったの？	・・・・・・・・ 2ページ
一般会計の内訳は？	・・・・・・・・ 2ページ
主な収入の内容は？	・・・・・・・・ 3ページ
主な支出の内容は？	・・・・・・・・ 4ページ
支出の分野別の使い道は？	・・・・・・・・ 5ページ
特別会計・企業会計の内訳は？	・・・・・・・・ 7ページ
借金はいくらあるの？	・・・・・・・・ 8ページ
貯金はいくらあるの？	・・・・・・・・ 8ページ
小松市の財政の水準は？	・・・・・・・・ 9ページ

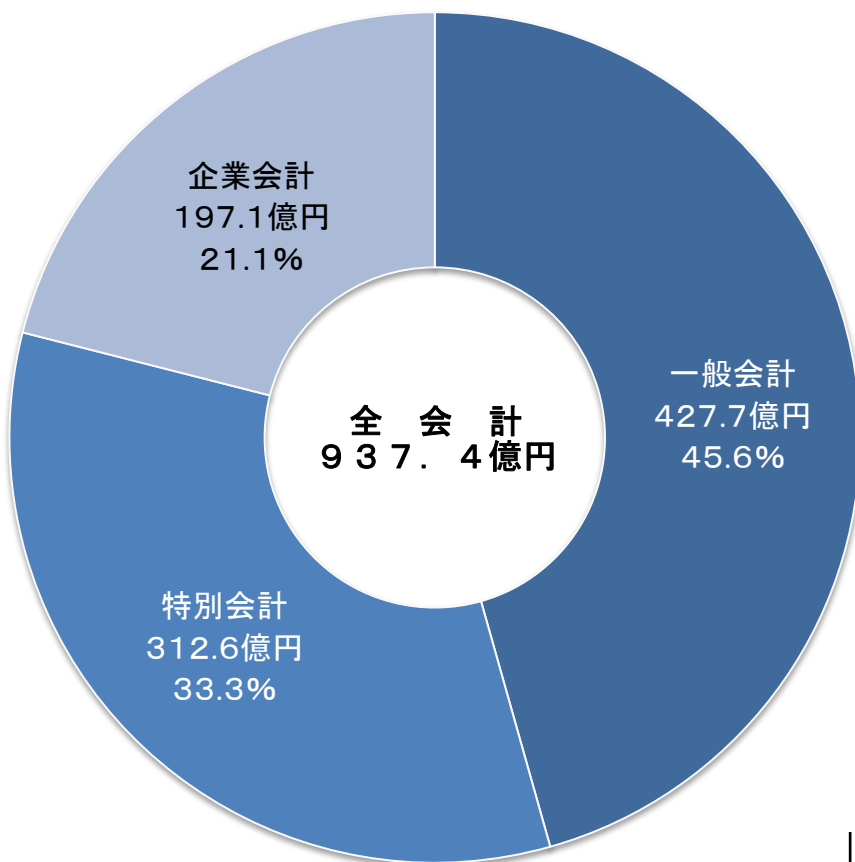


小松市イメージキャラクター『カブッキー』





1年間でいくらお金を使ったの？



市民 1 人当たり
859,495円

小松市全体では937.4億円のお金が使われました。これを平成25年3月31日現在の小松市の人口109,062人で割ると、**市民 1 人当たり859,495円**のお金が使われたことになります。

平成23年度決算に比べて市全体では 約7.7億円の減少となりました。

川辺町住宅建替の完了や、小中学校改築（第一小、安宅小、御幸中）、小中学校耐震化事業の減少が主な原因です。

なお、市の会計は、仕事の目的や種類によって、大きく3つに分かれています。

【一般会計】… 税金などを使って、福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など、市の基本的な仕事をする会計です。

【特別会計】… 国民健康保険、介護保険、農業集落排水などの事業は、保険料や使用料などの市税以外の特定の収入によって運営するものであり、一般会計と分けて経理した方が適当です。このような場合に設置するのが特別会計であり、小松市では平成24年度に7つの特別会計を設置しています。

【企業会計】… 水道や公共下水道、病院は、料金収入を主な財源に民間の企業活動に近い仕事をする事業です。このような場合に設置するのが企業会計であり、小松市では平成24年度に3つの企業会計を設置しています。

行政の仕事は広範多岐にわたるので、特定の事業の会計を分けることによって収支を明確にしています。

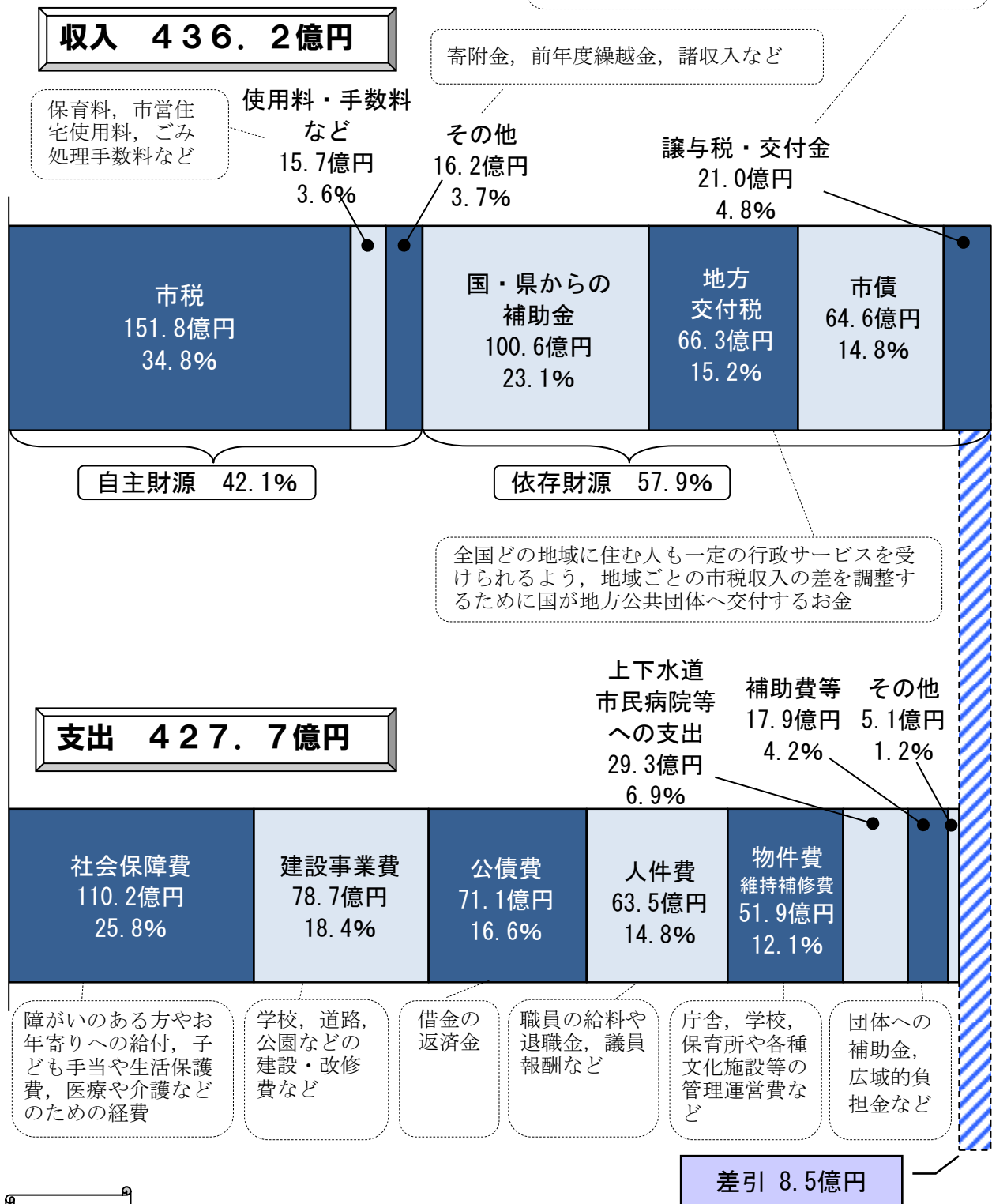
一般会計の内訳は ⇒ 2 ページへ

特別会計・企業会計の内訳は ⇒ 7 ページへ



何にお金を使ったの？

一般会計の内訳は？



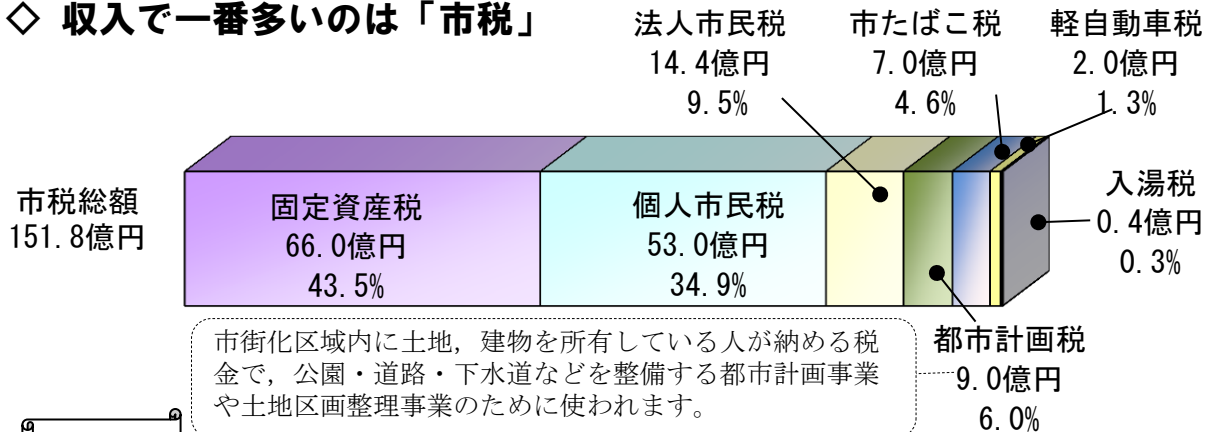
メモ

収入から支出を差し引いた額は8.5億円となっていますが、そのうち2.5億円は、平成24年度中に終わらなかった事業を翌年度に繰り越して使うため、その分を差し引いた実質的な収支は6.0億円となります。



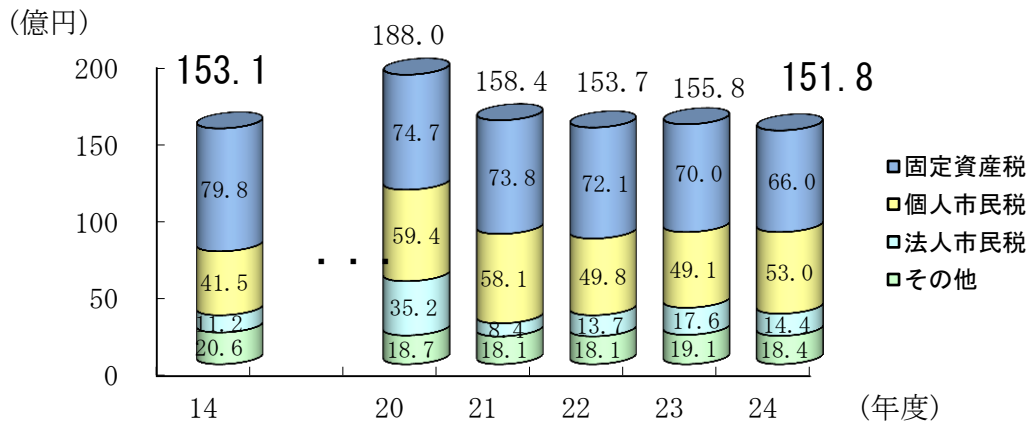
主な収入の内容は？

◇ 収入で一番多いのは「市税」



メモ

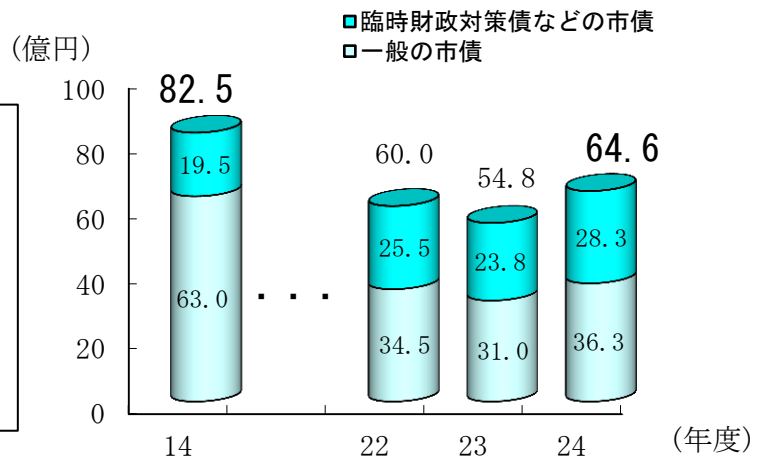
収入の中で一番大きな割合を占めているのは市税です。
 年少扶養控除の廃止の影響により、個人市民税が増加したものの、法人市民税や評価替えに伴う固定資産税の減収により、平成23年度と比べると4.0億円減少しました。
 下のグラフは、10年前と直近5年の市税の状況を示しています。平成21年度以降、景気後退の影響を受け、10年前程度の水準にとどまっています。



◇ 借金(市債)の借入

メモ

1年間に借金(市債)をする額は10年前に比べ、近年は減少しています。
 平成24年度の市債発行総額は64.6億円となりました。
 借金(市債)残高を減らすため、新たな借金の抑制に取り組んでいます。

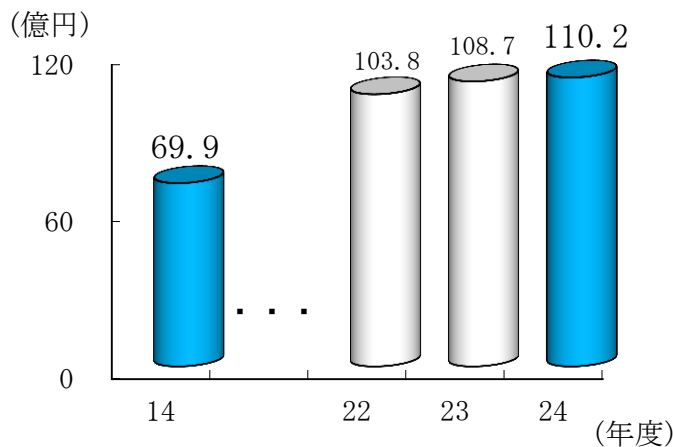
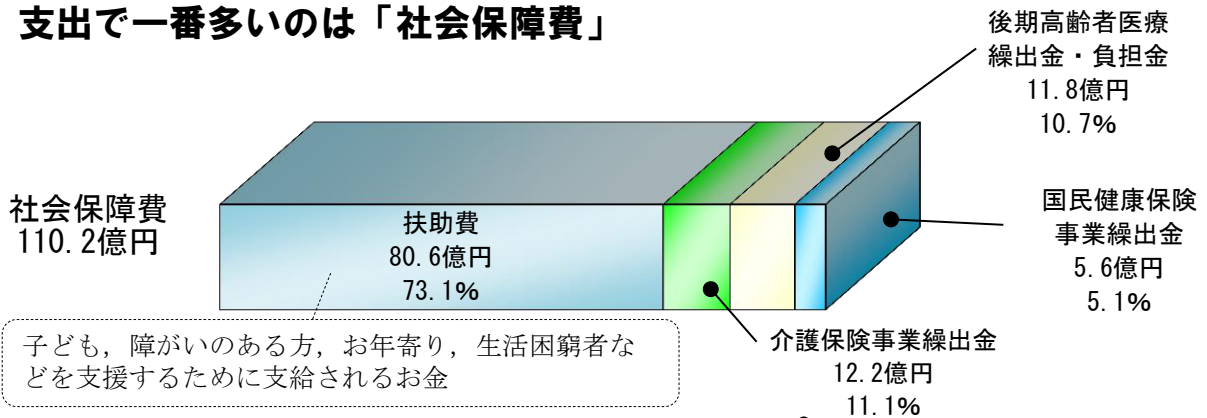


[臨時財政対策債]…本来、国から地方交付税としてもらえるはずのお金について、国の予算不足の穴埋めとして市が発行する借金



主な支出の内容は？

◇ 支出で一番多いのは「社会保障費」



メモ

平成24年度の社会保障費は，平成23年度と比べ1.5億円の増加となり，年々増え続けています。

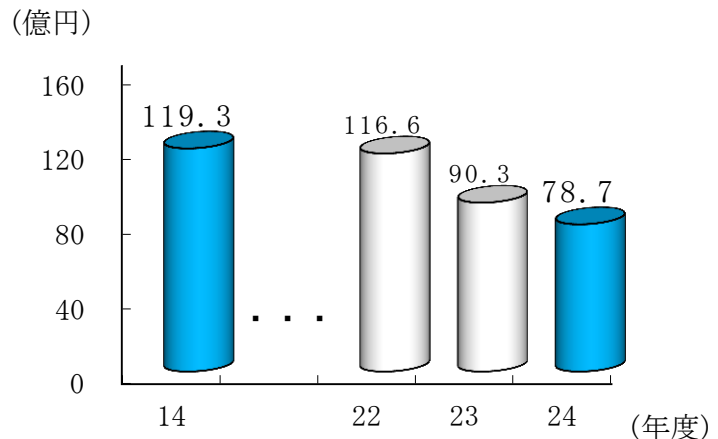
平成24年度は子どもの医療費助成や特定不妊治療への助成の充実を図りました。

少子化，超長寿化が進む中，10年前と比べると約1.6倍にまで増加しています。

◇ 「建設事業費」は減少

メモ

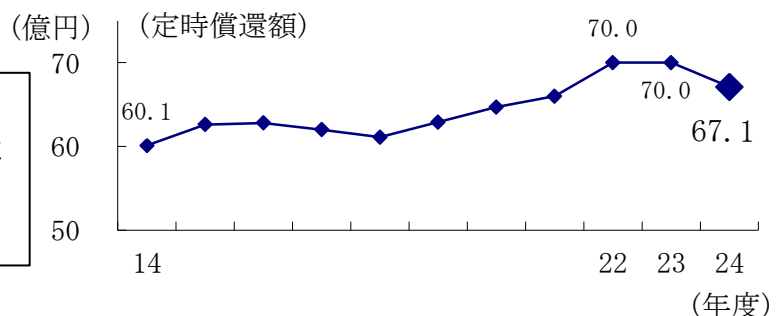
平成24年度は，サイエンスヒルズこまつ，こまつ曳山交流館「みよっさ」の整備を行いました。緊急課題であった小中学校の耐震化については本年度をもって100%を達成しました。



◇ 借金の返済（公債費）はやや減少

メモ

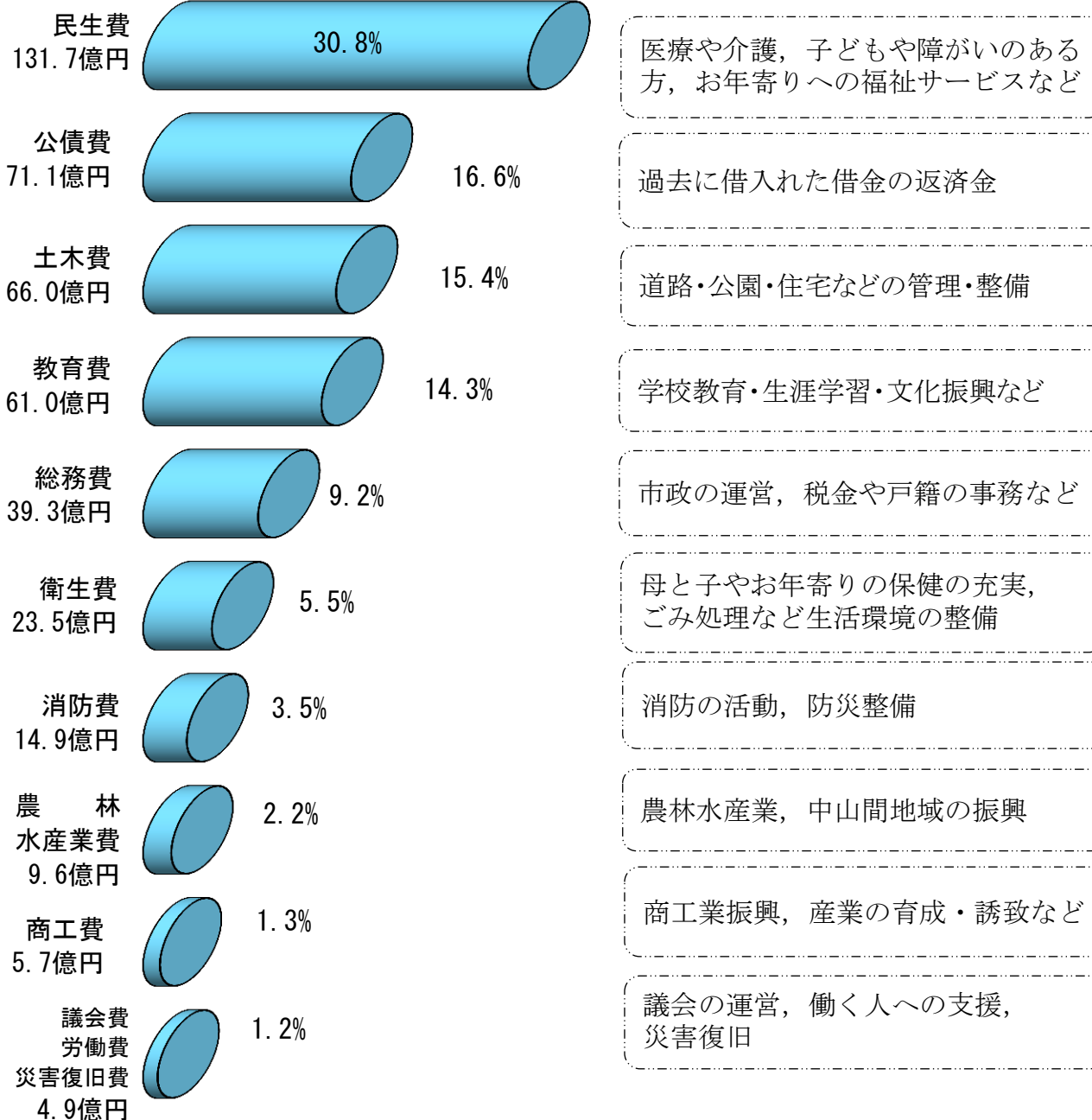
平成24年度は前年度と比べ減少しましたが，ここ数年は返済のピーク期となっております。





支出の分野別の使い道は？

支出 427.7億円



メモ

分野別では，福祉にかかる経費である「民生費」に一番多くのお金が使われており，全体の約30%を占めています。

公債費（借金返済）については，通常の返済に加え，将来負担軽減のため繰上償還（4.0億円）を行いました。

民生費 131.7億円 (120,757円)

◆ 保育所の運営	37.2億円
◆ 児童手当や子育て支援など	26.2億円
◆ 障がい者支援事業、施設入所費、障がい者手当など	16.0億円
◆ 介護保険事業への繰出金など	12.7億円
◆ 後期高齢者医療への繰出金など	12.1億円
◆ 生活保護の支給	8.3億円
◆ 国民健康保険事業への繰出金など	5.7億円
◆ 障がい者・子ども医療費の助成など	5.3億円
◆ 高齢者福祉のための事業 ・老人ホーム入所費、在宅支援など	3.8億円

公債費 71.1億円 (65,192円)

◆ 借金の返済（市債の定時償還）	67.1億円
◆ 将来負担の軽減（市債の繰上償還）	4.0億円

土木費 66.0億円 (60,516円)

◆ 公共下水道事業への繰出金など	20.8億円
◆ サイエンスヒルズや曳山交流館 “みよっさ”の建設	13.4億円
◆ 道路や河川の管理、整備	12.2億円
◆ 公園や街路などの都市計画事業	9.3億円
◆ 飛行場・基地周辺対策 ・基地周辺道路の整備など	6.3億円
◆ 市営住宅の管理	1.3億円

教育費 61.0億円 (55,931円)

◆ 小・中学校の改築、耐震化など	22.8億円
◆ 小・中・高等学校の管理	15.4億円
◆ 文化施設の運営や社会教育事業	9.0億円
◆ 体育施設の運営・整備など	6.2億円

総務費 39.3億円 (36,035円)

◆ 市の全般的な管理事務経費	24.9億円
◆ 広報の発行、国際交流事業など	7.3億円
◆ 税金の収納事務や戸籍事務など	5.7億円
◆ 衆議院議員総選挙、市長選挙	0.6億円

衛生費 23.5億円 (21,547円)

◆ ごみ処理などの環境対策	8.2億円
◆ 健康診断や予防接種など	7.0億円
◆ 市民病院への繰出金	6.4億円
◆ 水道事業への繰出金	0.8億円
◆ 斎場負担金や墓地の管理	0.3億円

消防費 14.9億円 (13,662円)

◆ 常備消防に要する経費	8.7億円
◆ 高機能消防指令システム整備	3.0億円
◆ 消防団や防災対策経費など	1.3億円

**農林水産業費
9.6億円 (8,802円)**

◆ 農業の振興、6次産業化の推進など	6.8億円
◆ 林道の管理や整備、造林など	2.5億円

商工費 5.7億円 (5,226円)

◆ 商工業の振興	2.1億円
◆ 融資などの金融対策	2.1億円
◆ 観光の振興	1.4億円

**議会費・労働費・災害復旧費
4.9億円 (4,493円)**

◆ 市議会の運営	3.9億円
◆ 労働者団体や就労の支援など	0.1億円
◆ 土木施設、林業施設災害復旧	0.9億円

※ （ ）内は、市民1人当たりの支出額を示す

市民1人当たりの支出額 = [各分野の決算額] ÷ [平成25年3月31日現在の人口 109,062人]



特別会計・企業会計の内訳は？

特別会計（7会計）

（単位：億円）

会 計 名	収 入	支 出	差 引	事 業 内 容
国 民 健 康 保 険	115.55	113.79	1.76	自営業者や退職者などの医療保険
介 護 保 険	88.99	88.60	0.39	施設介護，在宅介護等の保険
後期高齢者医療	11.56	11.28	0.28	広域連合による75歳以上の医療保険
簡 易 水 道	0.31	0.31	-	小集落への給水事業
農 業 集 落 排 水	4.04	4.04	-	農業集落の汚水処理施設管理・整備
工 業 団 地 造 成	0.81	0.81	-	串地区工業団地の分譲
公 債 管 理	93.72	93.72	-	借金の返済管理
合 計	314.98	312.55	2.43	

企業会計（3会計）

（単位：億円）

会 計 名	収 益 的 収 支			資 本 的 収 支		
	収 入	支 出	差 引	収 入	支 出	差 引
水 道	24.32	23.00	1.32	0.88	11.07	▲ 10.19
公 共 下 水 道	27.79	30.62	▲ 2.83	27.89	38.69	▲ 10.80
市 民 病 院	72.59	69.22	3.37	17.30	24.49	▲ 7.19
合 計	124.70	122.84	1.86	46.07	74.25	▲ 28.18



企業会計のしくみ

企業会計には2つの財布があります。

〔収益的収支〕… 事業を運営するために1年間にかかった経費と収入を管理する財布。事業の黒字・赤字はこの財布の中身を見れば分かります。

〔資本的収支〕… 事業の運営とは別に，施設の建設や設備投資の収支をやりくりする財布。借金の借入・返済もこの財布で管理しています。

このほかに，企業会計には**内部留保資金**というものがあります。内部留保資金とは純利益や現金支出の伴わない費用から生じるものです。

上の表では，資本的収支が赤字になっているように見えますが，**不足分は内部留保資金で補っています。**

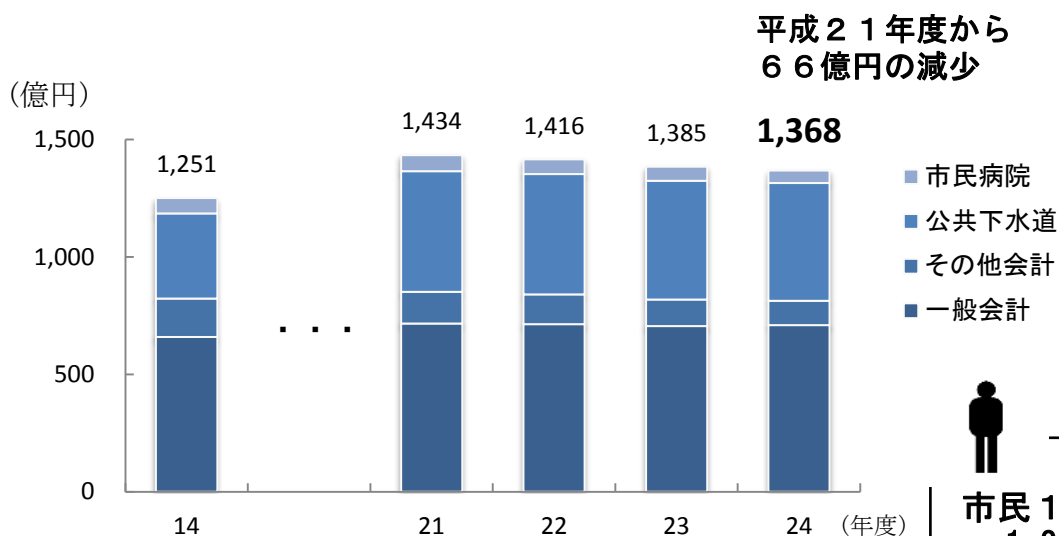


借金はいくらあるの？

小松市の借金（市債）の残高は、これまで増え続けてきましたが、市債発行の抑制や借金の繰上返済を行ったことなどにより、平成22年度以降は減少に転じています。

平成24年度は、市債残高を約17億円改善し、全会計の残高は約1,368億円となりました。

平成23年6月に策定した10年ビジョンでは、平成21年度から10年間で市債残高を200億円改善することを目標にしています。

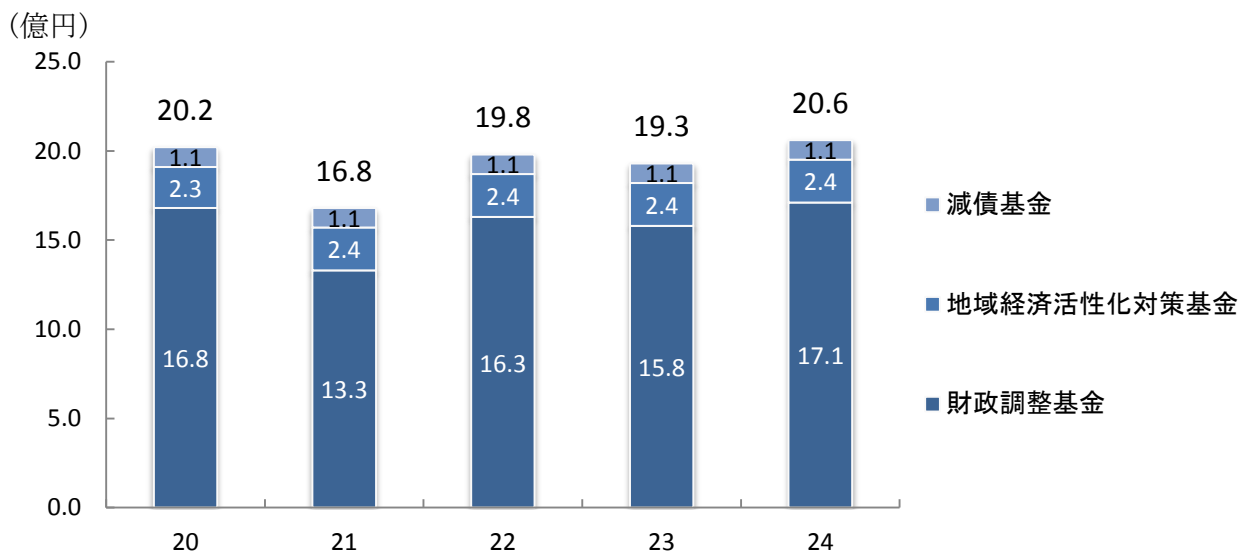


貯金はいくらあるの？

小松市の貯金（基金）の残高は、厳しい財政状況の中でここ数年は20億円を下回っていました。これは、平成21年度のリーマンショックの影響による歳入不足の補填や、市債の繰上償還を優先的にを行ったためです。

平成24年度は、市債の繰上償還（4.0億円）とあわせて貯金（基金）も増加させ、4年ぶりに20億円台となりました。

今後も、突発的な財政需要に対応するため貯金を確保しつつ、将来負担軽減へ取り組みます。





小松市の財政水準は？

平成24年度の普通会計決算を、全国の類似団体や県内11市と比べてみましょう。

市民1人当たりの支出額

小 松 市	391,533円	小松市の順位
類似88都市平均	358,216円	第28位
県内11市平均	479,348円	第9位

市民1人当たりの借金残高

小 松 市	650,133円	小松市の順位
類似88都市平均	355,727円	第85位
県内11市平均	675,361円	第6位

財政力の強さ（財政力指数）

小 松 市	0.669	小松市の順位
類似88都市平均	0.742	第55位
県内11市平均	0.534	第3位

※財政力指数

必要な財源をどれだけ自力で調達できるかを表す指数。数値が大きいほど財政力が強い。

収入に対する借金返済の割合 (実質公債費比率)

小 松 市	18.3%	小松市の順位
類似88都市平均	8.5%	第86位
県内11市平均	13.5%	第11位

※実質公債費比率

収入額のうち借金の返済に使った金額の割合。数値が大きいほど借金返済の負担が重い。

財政の弾力性（経常収支比率）

小 松 市	92.9%	小松市の順位
類似88都市平均	90.6%	第63位
県内11市平均	92.0%	第6位

※経常収支比率

市税などの経常的な収入に対する経常的な経費の割合。数値が大きいほど財政の弾力性が低い。

収入に対する借金残高の割合 (将来負担比率)

小 松 市	196.9%	小松市の順位
類似88都市平均	54.4%	第87位
県内11市平均	98.4%	第11位

※将来負担比率

収入額に対する市債などの負債残高の割合。数値が大きいほど将来支払う負債の残高が多い。

○小松市の順位は、「市民1人当たりの支出額」を除き、「良い方」からの順位を示しています。
(「市民1人当たりの支出額」は、金額が大きい方からの順位)

類似団体と比べると…

小松市は、類似都市や県内11市と比較して、収入に対する借金返済の割合を表す実質公債費比率、借金残高の割合を表す将来負担比率は非常に高い水準となっています。

今後はまちを発展させ、税収を確保するとともに無駄を無くすことで、借金を減らしていくことが重要な課題です。

○類似団体：国勢調査の結果を基に団体の人口及び産業構造を基準に分類されたものです。平成24年度からは、国勢調査の数値を平成17年度数値から平成22年度数値に変更したため、類似団体は20団体から88団体となりました。
下の一覧が、小松市と同じ類型（人口が10万人以上15万人未満、産業構造が第2次産業＋第3次産業が95%未満かつ第3次産業が55%以上）の都市です。

都道府県	市	都道府県	市	都道府県	市
北海道	北見市	神奈川県	伊勢原市	広島県	三原市
	江別市		座間市		尾道市
岩手県	花巻市	新潟県	三条市	山口県	廿日市市
宮城県	大崎市		新発田市		防府市
山形県	鶴岡市	石川県	小松市	香川県	岩国市
	酒田市		白山市		周南市
福島県	会津若松市	長野県	佐久市	愛媛県	丸亀市
茨城県	土浦市	岐阜県	各務原市	福岡県	新居浜市
	取手市	静岡県	焼津市		西条市
栃木県	栃木市		藤枝市	佐賀県	大牟田市
	佐野市	愛知県	瀬戸市		筑紫野市
	鹿沼市		半田市	長崎県	唐津市
	那須塩原市		小牧市	熊本県	諫早市
群馬県	桐生市	三重県	稲沢市	大分県	八代市
埼玉県	加須市		東海市		別府市
	鴻巣市	滋賀県	伊勢市	宮崎県	延岡市
	深谷市		桑名市	鹿児島県	鹿屋市
	戸田市	大阪府	彦根市		霧島市
	入間市		草津市	沖縄県	浦添市
	朝霞市		池田市		沖縄市
	富士見市		守口市		うるま市
	三郷市		泉佐野市	計 88 団体	
	坂戸市		富田林市		
	ふじみ野市		河内長野市		
千葉県	木更津市		松原市		
	成田市		大東市		
	我孫子市		箕面市		
	鎌ヶ谷市		羽曳野市		
東京都	武蔵野市		門真市		
	昭島市	兵庫県	三田市		
	小金井市	奈良県	橿原市		
	国分寺市	鳥取県	米子市		
	東久留米市	岡山県	津山市		
	多摩市				

○普通会計：地方公共団体ごとに会計の分類が異なる場合があるため、一定の基準で比較できるようにした、統計上の会計区分です。小松市では、一般会計が該当します。

もっと詳しく 知りたい方は…

小松市HPの組織別案内
（財政課）のページを
ご覧ください。

[発行]平成25年10月 小松市総合政策部財政課
〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地
TEL：0761-24-8144（直通） FAX：0761-24-8190
メール：zaisei@city.komatsu.lg.jp
HP：http://www.city.komatsu.lg.jp/zaisei/

